

第四回豊田市民連句祭・桜花学園創立100周年記念協賛行事  
[とよた市民キャンパス連句まつり2003]

# 「すてきな三句」募吟

応募受付期間

2003年6月10日(日)～8月10日(日)

連句会(&表彰式)

2003年10月25日(土)13時～17時  
於 桜花学園名古屋栄キャンパス

連句（俳諧の連歌）は、複数の人々が長句（五・七・五句）と短句（七・七句）を交互に付け合ってゆく、日本の伝統文芸です。現代ではコミュニケーション文学としても高く評価され、世界的な広がりを見せています。桜花学園大学のキャンパスを開放して開催する「とよた市民キャンパス連句まつり」は、新聞メディア、インターネットともつなぎ、全国の連句愛好者や一般市民が気軽に交流する連句フェスティバルとして第4回をむかえました。今回は桜花学園創立100周年記念行事として、「すてきな三句」募吟を行います。魅力ある清新な作品をふるってお寄せ下さい。

主催 桜花学園大学・同生涯学習研究センター・豊田市・豊田市教育委員会・財団法人豊田市文化振興財団  
後援 中日新聞社・公益信託俳諧寒菊堂連句振興基金・連句協会・愛知県・愛知県教育委員会

# 「すてきな三句」募集要項

連句の魅力のエッセンス!

## 公募の趣旨

付けと転じの三句の展開を、連句の魅力のエッセンスとして、「すてきな三句」を募集します。

一句めに二句めが付くと、新しい詩情、ドラマをもつ世界ができる。でも、三句めが付けば、一句めを離れ、二句めと三句めだけの別の新しい世界に転じる! 「一步も帰らず」展開してゆく連句! この世界に例のないメカニズムのおもしろさに注目し、「すてきな三句」を募集します。

みなさんが日々楽しみ、追究している作品の中に輝いているすてきな三句をぬきだして、多数お寄せください。連句のユニークな魅力を21世紀世界に発信しましょう。

## 応募規定

1999年以降の連句作品の中から、(どの部分でも)ご自分の句のはいった三句つづきをぬきだして御応募ください。

独吟不可。

三句は[短句・長句・短句]でも「長句・短句・長句」でもかまいません。

次ページに各選者が三句の例を出していますので参考にして下さい。

## 応募方法

官製はがき一枚につき三句一組を書いてご応募ください。

「三句募吟」と題して

三句を三行に書き

出典となる作品名とその首尾年を添え

応募代表者姓名と、その住所、電話番号を書いてください。(下図参照)

応募 無料。

宛 先

〒471-0057 豊田市太平町七曲12-1

桜花学園大学生涯学習研究センター

「すてきな三句」係

応募期間 6月10日～8月10日

### 応募はがき(裏面)の書きかた

電話番号	代表者姓名	(三句め)	(二句め)	(一句め)	「三句募吟」
_____	_____	_____	_____	_____	
		(出典作品名と首尾年)	作者名	作者名	作者名
			_____	_____	_____

## 選 者

大野鶴土、近松寿子、原田千町、佛淵健悟、宮下太郎、矢崎 藍、山地春眠子(アイウエオ順)

## 賞

各選者特賞(7)

俳諧寒菊堂賞(選者 岡本星女)

恋三句賞・時事三句賞(以上10賞に各副賞二万円)

秀逸、入選。

## 表彰式と連句会

表彰式と連句会を名古屋でおこないます

時 2003年10月25日(土)1時 5時

場所 桜花学園 名古屋栄キャンパス

(4頁参照)

## 作 品 集

入選作品を掲載した「とよた市民キャンパス連句まつり2003」を発行します。(2004年3月予定)入賞入選者には無料贈呈します。

## 問 合 せ 先

桜花学園大学生涯学習研究センター

〒471-0057 愛知県豊田市太平町七曲12-1

TEL 0565-35-3131

FAX 0565-32-1969

選者紹介と、三句例

大野 鶴士 (おおの こうし)



1950年岐阜県生まれ。大学生時代に連句と出会う。現在、芭蕉・支考の系譜に連なる美濃派の道統補佐。巴世里(ばせり)連句会代表。岐阜県連句協会理事長。古きにならず、新しきに溺れずを念頭に、一座するを重視。著書『西鶴矢数俳諧の世界』(和泉書院)共著『連句 理解・鑑賞・実作』(おうふう)他

家族みなまあく座り生姜湯 椎野加奈子  
白き手紙の届く沈黙 渡邊 桃子  
ほうたるを呑んで全身発光す 大野 鶴士  
(1999年短歌行「白堊の館」の巻より)

佛淵 健悟 (ほとけぶち けんご)



1949年鹿児島県生まれ。早稲田大学仏文科卒業。俳人協会会員。猫蓑連句会同人。'89年朝日カルチャーセンターで東明雅「連句入門」に出会い、連句のとりことなり今日に至る。大の猫好き。共著『連句俳句季語辞典 十七季』(三省堂)

教師に向かぬ教師増えおり 健 悟  
煙草の輪三角四角まんまるに 丁 那  
まだ赤道を越えぬタンカー 健 悟  
(2002年 百韻「山眠る」の巻より)

岡本 星女 (おかもと せいじょ)



1918年大阪市生まれ。俳句は阿波野青歎(故人)に師事。岡本春人に連句の指導を受け、パートナーとなり、その没後「俳諧接心」を継承、主宰となる。俳諧寒菊堂連句振興基金運営委員長。編著書『俳諧怡楽—岡本春人の連句人世』(角川書店)連句集『春夏秋冬』(三晃社)他

汁の泥鱈の髯が気になる 岡本 星女  
ロック歌手取り巻きギャル等大騒ぎ 中野美智子  
しょせん女は浮気なものよ 星 女  
(2001年居待「街々は」の巻より)

宮下 太郎 (みやした たろう)



1939年生まれ。'65年より連句に親しむ。小笠原樹々門。阿片瓢郎、伴野深水氏等と「連句研究」誌創刊に参加。'80年連句懇話会創立より常任幹事。「連句懇話会報」編集。連句協会発足後常任理事、「連句協会報」編集。作品集『六歌仙集』など。鹿の会主宰。多摩美術大学教授。

誰が吹くやら朧夜の笛 梁 太郎  
残酷な四月という詩エリオット 太 郎  
リストラ故に荒地耕す 禅 巖  
(2001年歌仙「こぶしの実」の巻より)

近松 寿子 (ちかまつ ひさこ)



1974年浜千代清教授を迎え「俳諧」の勉強会。以後橋間石・林空花師にも指導を受ける。連句懇話会結成時より参加。'92年大阪御堂会館で「連句シンポジウム」開催。「関西連句を楽しむ会」として継続。連句協会副会長。同関西支部長。茨の会主宰。著書『連句をさぐる』(創樹社)。

病む母に我が名問われし寒の月 妙島 秋男  
見舞うが如く悴みの猫 近松 寿子  
号令はホップステップ・ジャンプです 蘭 理恵  
(2002年歌仙「聖域なき構造改革」の巻より)

矢崎 藍 (やざき あい)



学生時代から連句狂いの自称めざつね。ころも連句会代表。猫蓑会同人。連句協会理事。HP「矢崎藍の連句わーど」著書『連句恋々』(筑摩書房)『平成付け句交差点』(同)『おしゃべり連句講座』(NHK出版)他。中日新聞・東京新聞で付け句コラム連載中。桜花学園大学教授。

見知らぬ男逆光に立つ 藍  
抱かれつつ果てなき沙漠肩ごしに 澁谷 道  
スチールデスクすべすべと冷え 藍  
(2002年非懐紙「鯨挿して」の巻より)

原田 千町 (はらだ ちまち)



1983年突然叔母に連句のまね事をつきあわされ、嫌々始めた筈が面白くなり、同年朝日カルチャースクール「連句入門」に入り東明雅先生の薫陶を請け、'87年伊勢派の伝道書を頂き、'99年立机を許され臥猫庵を号する。猫蓑会同人。俳句、未来図同人。

泡の中から伸ばす片足 千 町  
寒忍しのばぬ恋は許されず 鶴 鳴  
振り袖火事となりし怨念 千 町  
(2000年歌仙「イエズスの垂訓」の巻より)

山地春眠子 (やまぢ しゅんみんし)



1935年生。'76年東京義仲寺連句会入会。'85年まで俳諧誌『杏花村』編集部員。現在東京義仲寺連句会草門会同人。同会では口語自由律非定型連句も実験中。俳誌『鷹』同人、現代俳句協会会員。著書『現代連句入門』(沖積舎)

湖をまるごと自動改札機に入れよう 大橋 俊彦  
「シャックリが止まらない」と墓を暴く 山地春眠子  
双曲線やさかい 山笑いよる 高岡 粗濫  
(2003年短詩行「雪という劇」の巻より)





## 会場案内

### 桜花学園栄キャンパス



**10月25日(土) 午後1時 - 5時**

連句会(「すてきな三句」募吟の表彰式)の会場は桜花学園名古屋栄キャンパス(チェリープラザ02ビル7F)です。名古屋駅からタクシーで10分。地下鉄矢場町駅または栄駅下車徒歩7分です。

〒460-0008

名古屋市中区栄3丁目19-8

052-242-1631

10月25日(土)に同時に桜花学園大学 豊田キャンパス(大学院・人文学部)では大学祭(秋桜祭)が行われています。学生と地域との付け句祭、連句交流は例年のようです。お近くの方はこちらへのご来場もどうぞ。

(地下鉄鶴舞線赤池駅・豊田市駅より大学バスが出ます)

〒4710057 愛知県豊田市太平町七曲12-1 0565(35)3131